

建 企 第 2 5 4 号

平成 20 年 10 月 17 日

国土交通省

道路局長 金井 道夫 様

島根県浜田市長 宇津 徹男

(建設企画課)



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、下記のとおり意見・提案を作成しましたので提出いたします。

記

1 提出する書類 別紙のとおり（様式①～④）

- ① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など
- ② - 1 地域の現状と抱える課題
- ② - 2 地域の目指すべき将来像
- ③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

2 問い合わせ先 島根県浜田市 建設部 建設企画課

連絡先 0855-22-2612（代表）内線 575

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①
島根県浜田市

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○現状	○課題
・地方の道路整備は「未だ道半ば」である。 ・急速な過疎化、少子高齢化が進んでいる。	・地方の自立的発展を期するためには、単なる採算性だけに依ることなく、地方が生き残れる中期計画を策定すること。 ・過疎化を防ぎ、国土全域の農林業の荒廃を阻止するためには、地域の生活に密着した道路網の整備が必要である。 ・緊急医療に対応した安心で安全な道路ネットワークが必要である。 ・山陰道の完成スケジュールを明示する。
・多くの交通量が見込めない中山間地域では「費用対効果」だけで評価すれば、投資効果が得られないと判断される。	・「費用対効果」だけでなく安全な通行を確保する着実な道路整備を行えるようにすべきである。
道路特定財源の一部を一般財源化される。	・一般財源化されても地方道路整備臨時交付金制度は、堅持する必要がある。
・道路整備をする上で国の関連省庁や県や市町村の関連機関との調整が不十分であり、道路整備の一元化が必要である。	・国や県市町村の連携もしくは、一元化等により有効な道路整備ができる。
・行政評価制度をより充実させる。	・都市部中心の道路整備行政評価等は、地方が切り捨てられ、地方の必要な道路整備が益々遅れる。そのため、地方の道路整備行政評価等は、地方を十分考慮した制度にする必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 地域の現状と抱える課題

島根県浜田市

○現状	○課題
・地方が広域連携や地域間競争に打ち勝ち、自立的に発展する為には、山陰道のネットワーク整備は絶対的条件である。 ・県内の東西移動に4時間も要する。	・県内の東西間の移動に4時間も要する現状は早急に解消されなければならない。早期の山陰道のネットワーク整備は、最重要課題と位置付けており、10年間で完成されるようお願いする。 ・「中期計画」に山陰道の完成スケジュールを明示すべきである。 ・山陰道の早期完成
・国道9号の大部分が片側1車線のため、事故や災害で通行止めになるとたちまち交通が麻痺し、消防、救急活動に支障が生じている。 ・重要港湾浜田港における国際貿易の促進は、浜田市の重要な課題である。浜田港はアジア地域はもとより米国、欧州など18ヶ国50港との交易拡大を着実に続けている。	・災害に強い防災対策を進め、緊急搬送に支障を来さない安心、安全な道路ネットワークを整備すべきである。 ・浜田港などの小規模な重要港湾へのアクセス道路整備についても、整備範囲を拡充し推進すべきである。
・島根県的高速道路は、整備手法の違いにより、有料・無料区間が混在し、他の区間に比べ割高となっている。	・高速道路の利用促進を図るためにも、その料金設定にあたっては地方の実情に応じたETC割引制度の活用、無料化等の柔軟な運用が求められる。
・西の津和野町から世界遺産登録の石見銀山などにかけて、歴史的文化遗产や未だ開発されていない自然が多く残っている。	・それらを有効に活用した観光振興や、安全で良質な農林水産物の販路拡大及び環日本海に挑む浜田港の利用促進を図る必要がある。
・国道9号は、危険な交差点や歩道がない部分が多くあり、大型トラックの風圧にさらされる危険な状況の中、小中学生が、徒歩や自転車で通学している。	・高齢化が急速に進行しているなかで、高齢者の移動空間の確保や通学路の安全確保のため、歩道整備やJR山陰本線の大池尻踏切などの踏切と近接している交差点の改良などを積極的に行うべきである。
・浜田市の道路ストックは今後急速に老朽化する。	・アセットマネジメントを強化し、維持管理費用の確保をすべきである。
・島根県は公共交通が未発達なため、旅客輸送の約98%を自動車交通に依存しており、一世帯当たりの財源負担額は、大都市に比べて非常に高くなっている。	・納税者、特に税負担がより大きい地方の自動車ユーザーの理解が得られるよう、必要な道路整備費が確保されるべきである。
・遅れている地方の高速道路整備	・地方道路整備臨時交付金の拡大など、地方の道路整備費の強化・拡充を図るべきである。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-2 地域の目指すべき将来像

島根県浜田市

浜田市では「青い海・緑の大地 人が輝き文化のかおるまち」をまちづくりの理念とし、「安心して、健やかに、楽しく住める一体的なまちづくり」と「地域の個性を生かしたまちづくり」を基本に、魅力と活力に溢れ、21世紀に飛躍する新しいまちの実現を目指している。

その中でも道路行政においては、高速道路をはじめとした道路網の整備は、自立をめざす地方にとって必要不可欠なものである。

浜田市総合振興計画の建設部門では、快適な道路環境の整備として、地域内道路ネットワークの整備及び高速交通ネットワークの整備を位置付けている。自動車交通に依存する本市にとって、地域内道路ネットワークの整備においては、国道9号及び幹線道路の整備が、高速交通ネットワークの整備においては、浜田三隅道路及び三隅益田道路の早期整備が重要な施策との位置付けをしている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

島根県浜田市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・山陰道の早期完成 ・都市機能充実のための街路整備	・災害対策 ・救急医療対策 ・観光振興(アクアスへの入館者が増加する。)	
	・高速道路料金の柔軟な運用	・高速道路の利用促進	
・国際競争力の強化のための交通サービスの向上	・重要港湾浜田港へのアクセス道路(臨港道路4号線)整備	・国際貿易の振興(輸出量が増加する。)	
・計画的・効率的な維持管理や更新の推進	・橋梁の耐震対策等の維持管理費用の確保	・経済基盤の弱い市町村の道路ストック長寿命化対策	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・子どもや高齢者の安全確保のための歩道整備及び交通安全確保のための道路改良	・高齢者の移動空間の確保 ・通学路の安全確保	